

十一面観音観音菩薩の建立の運び

この度は不肖私の母 当山二十二世寺族 慈光妙徹禅尼の三回忌にあたり見性院分院専念寺と同観音堂に新たに十一面観音菩薩を建立することが決定しました。母は当院位牌堂に祀られた十一面観音菩薩をこよなく愛していました。何年も貯金をして購入したと聞いております。曹洞宗梅花流詠讃歌の道に熱心に取り組んで生涯を全うしました。寺族としては身を粉にしてよく働いてくれたと思います。今は感謝に堪えません。少しでも菩提を弔う供養となれば幸いです。先日は台湾の高僧一団が来山をされて大法要を行うことができました。当院の総檀信徒回向までしていただきました。特に歴代住職、寺族墓地をはじめ橋本家の墓地の墓参も丁寧にしていただきました。ご利益は計り知れません。それから運気がますます上昇しております。この十一面観音菩薩の建立によりさらに弾みはつくことと思います。観音像は台座を含めると総丈3メートル50センチとなります。新名所になるかと思えます。両分院復興の一助となれば幸いです。両分院も墓地の分譲をしておりとてもよい環境でまだまだ発展の余地はあります。どちらも観音霊場で厚い信仰をこれまで集めてきました。私の代では整備を完結させて次世代に引き継ぎたいと考えております。今 私は想像を越える世界的日本的な著名人たちとの遭遇が相次いでおります。これまでの努力が実ってきているのかもしれない。感謝感謝です。

合掌

令和5年5月22日

見性院住職